

忘れていませんか？

10年経ったら交換しましょう

住宅用火災警報器の

点検・交換！



誰でも簡単！住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
少なくとも年に2回は点検しましょう。
(春・秋火災予防運動の時期に実施することを推奨)

反応しない場合は、すぐに**交換**しましょう！

●交換の目安は10年

設置から10年以上の場合も**交換**しましょう！

設置年数は、設置の時に記入した設置年月や交換期限で確認できます。
記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。

点検方法



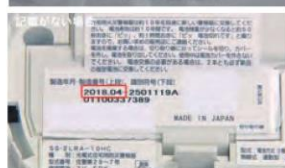
点検方法



設置年数



記載がない場合



再確認！ 設置しなければならない箇所

寝室

就寝に使用している部屋

階段

寝室がある階の階段の上端



※ 火災が発生する恐れのある台所や居間にも、つとめて設置しましょう。

市内の住宅用火災警報器の奏功事例

【事例】こんろで調理中、その場を離れたため・・・

台所のコンロで、てんぷら油を使用し調理中、その場を離れたところ、住警器が作動しました。台所に戻ると鍋から火があがっていたため、すぐに消火し火災には至りませんでした。

